

- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘5 2-5-1 ☎072-957-5553
- 丹比図書館 檜山 251-1 ☎072-937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
- 古市図書館 ☎072-958-0050 (休)休(出)休 10:00 ~ 17:30
- ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 (休)休(出)休 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

### 読んでみませんか?

#### 『(あまり)病気をしない暮らし』

仲野 徹/著 晶文社

「ダイエット『入門』の達人になる」「できるだけ」ガンにならない暮らし」など、巷の怪しい健康情報とは一線を画す、ナニワの病理学教授による愉快的健康指南書です。



#### 『学校へ行こうーちゃんとりんー』

いとう ひろし/作 理論社

ある朝、登校中のちゃんとりんはふと思えます。「どうして毎日毎日学校へ行かなきゃならないんだらう?」2人が、学校へ行かなくてすむ方法をいろいろ考えていると…。



### 休館のお知らせ

- ◆ブックステーションはびきのコロセラム  
3月28日(休)~4月8日(月)  
※大阪府知事選挙が行われる場合は3月21日(休)~4月8日(月)
- ◆陵南の森図書館  
3月18日(月)・19日(火)
- ◆3月31日(日)は市内の図書館は全て休館となります。

おはなし会 (3月)		今月の特集テーマ
東部図書館	13日(水)	10:30 ~ 防災の本
羽曳が丘図書館	9日(土)、23日(日)	15:00 ~ 美術に触れてみよう
古市図書館	16日(日)	15:00 ~ きれいになる本
丹比図書館	23日(日)	10:30 ~ 春の本
中央図書館	10日(月)、16日(日) 24日(日)、30日(日)	13:30 ~ 平成の芥川賞・直木賞(一般) ロングセラーの絵本(児童)
陵南の森図書館	3日(日)、10日(日)、24日(日)	11:00 ~
	16日(日)	15:00 ~
	17日(日)	平成のおもいで(一般) のりもの本(児童)
	・11:00 (小さい子向き) ・11:30 (少し長いお話を聞ける子向き)	

### ちびっこサロン

【日時】3月13日(水) 10:30 ~ 【場所】森のゆうびんきょく

春休み! おはなし大会 【主催】羽曳野市子ども文庫・連絡会・おはなしの森

【日時】3月23日(日) 【場所】中央図書館 多目的室

13:30 ~	「赤ずきん」ほか (6歳以下向き)
14:15 ~	「食わず女房」ほか (7~10歳向き)
15:00 ~	「三本のカーネーション」ほか (11歳以上向き)

### 朗読ボランティアグループ「はびきの」第25回 朗読発表会

【日時】3月2日(日) 13:00 ~ 【場所】LICはびきの 音楽実習室

【内容】芥川龍之介『蜘蛛の糸』、宮本輝『夜桜』、

くどうなおこ『ちいさなはくさい』ほか

※入場無料 どなたでも参加できます。

## サラダボール

総務省 統計局の人口推計 (平成

30年7月1日確定値)によると、29歳以下の人口は3399万3千人、総人口に占める割合は約26.9%、つまり、国民の4人に1人以上は29歳以下となります。今年は平成31年ですので、総人口の4分の1以上が平成生まれになったとも言えるのではないのでしょうか。

また、近年は、毎年のように新たな道具が生み出され、人々の生活が便利になるとともに、コミュニケーションのあり方も変わってきました。

現在、最も身近なコミュニケーションの道具のひとつであるスマートフォン

94.5% (総務省「平成29年通信利用動向調査」)に達し、気軽に他者とコミュニケーションをとることができる環境が整ってきました。しかし、その反面、「無縁社会」という言葉が生まれるなど、身近な地域でのつながりは弱まっているといわれています。

地域との関係性を表す「向こう三軒両隣」という言葉がありますが、インターネットを介して世界中の人と瞬時につながることができるようになったこととは対照的に、今や死語になりつつあるようです。

このような状況の中、平成28年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」に地域共生社会を実現することが盛り込まれました。

『「地域共生社会」とは、制度・

分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて…略…「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をも創っていく社会を目指すものである』(『地域共生社会』の実現に向けて<当面の改革工程>平成29年2月7日 厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定)とされています。

羽曳野市では、地域住民と行政、専門職が協働する「ふれあいネット雅び」が、市内すべての14の小校区(義務教育学校を含む)で立ち上がっています。

時代が変わっても、生活が便利になっても、地域のつながりが大切であることに変わりはないようです。

はびきの しけんけいはつすいしんきょうぎかい 羽曳野市人権啓発推進協議会